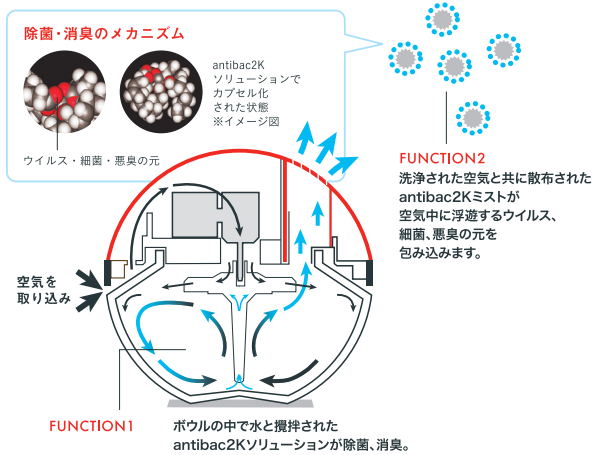


about anti+bac 2K[®]

「除菌」「消臭」「香り」の3つのキーワードをもとに、ウイルス、細菌、悪臭の元をカプセルに閉じ込めてしまう独自の技術、これがantibac2Kの「カプセル化技術」です。Antibac Laboratories Pte.Ltd.(シンガポール)とEvonic Goldschmidt GmbH(ドイツ)との共同開発により実現したこの技術は、antibac2Kソリューションに凝縮されています。人体の安全性、環境への影響を十分に考慮したantibac2Kソリューションは、専用のantibac2K空気洗浄機内で水と攪拌され、ミスト状になって散布されます。そして空気中に浮遊する有害物質を包み込み不活化します。また同時に放たれる「香り」があなたのやすらぎを演出します。

Magic Ball 2つの機能 (DUAL FUNCTION)



anti+bac 2K[®]の「除菌」と「消臭」の実証データ

ウイルス除去対策 antibac2Kのカプセル化技術による、ウイルスの不活化を検証しました。

補足資料 抗ウイルス作用試験

バイオメディカルサイエンス研究会による検査結果

生菌を空気中に噴霧させた検査で除去率99.96%の検査結果を確認(検査結果は下記参照)

※一般検査に用いられる類似菌、試菌ではなく生菌検査を実施

※日本国内における検査を実施

〈試験目的〉

マジックボールから生じるアンティバックソリューションミストにより検体ウイルスに対し不活化効果を測定(マジックボールの抗ウイルス作用の測定)

〈試験方法：ウイルスの噴霧と回収〉

- ①本体に水500mlに対し専用液(ソリューション)5mlを加えセットする。
 6.50×10^7 (65,000,000菌=6,500万菌)の元ウイルスを噴霧し、マジックボールを15分間作動
- ②本体に水500mlのみセットする。
 6.50×10^7 (65,000,000菌=6,500万菌)の元ウイルスを噴霧し、マジックボールを15分間作動

※ソリューションの効果を測定するため「水+ソリューション」「水のみ」での作動試験を実施

※マジックボールの作動時間は元ウイルス噴霧終了後、15分間の作動

※検体ウイルスの感染価・噴霧量=6,500万菌

※試験温度は23℃~25℃

〈試験成績〉

15分の作動で対照の水と比較して99.96%浮遊検体ウイルスの減少を確認。(ウイルスの不活化を実証)

検体	感染価 (PFU/0.1ml)
ソリューション	1.3×10^3
水	3.3×10^5

※antibac2Kソリューション入りのマジックボールは、水のみとも較べても有意にウイルス量を減少させた

〈試験実施者〉

NPO法人バイオメディカルサイエンス研究会

antibac2K SOLUTION Ver.2のPM2.5除去試験

試験方法

3.0m×2.8m×3.0mの試験室(8.4m)に線香の煙をDusk Tark2 Aerosol Monitor Model8530を使用して発煙させ、水500mlとantibac2K SOLUTION Ver.2を10mlセットしたマジックボールを稼働させる。30分後、その後1時間ごとに室内の煙の濃度を測定する。除去率の計算方法は下記の通りとなる。

試験結果

antibac2K SOLUTION Ver.2は8.4mの部屋でマジックボールを稼働させることにより、6時間後PM2.5を97.7%除去することができる。

100% - (基本測定時間の濃度÷その前の測定時間の濃度×100%)

